

令和5年 第11回津幡町教育委員会議事録

1 日 時 令和5年11月21日（火）開会 午後1時30分、閉会 午後3時00分

2 場 所 津幡町役場2階 庁議室

3 出席委員（4名）

吉田克也教育長、山本祝男委員、鳥越千春委員、渡邊加寿子委員、

欠席委員 越村 崇委員

4 事務局説明員 宮崎寿教育部長、山崎明人教育総務課長、北山ゆかり学校教育課長、

森光敏生涯教育課長

事務局書記 松岡美夏教育総務課主事

5 議題及び審議結果

報告第29号 津幡町教育委員会後援等名義使用申請について 承認

報告第30号 令和5年度津幡町学校等給食費助成金交付要綱の一部改正について 承認

議案第33号 令和5年第2回津幡町議会12月会議提出予定案件について 【非公開】

その他（1） いしかわ百万石「里山里海」民謡の祭典開催報告について 了承

その他（2） 当面する諸行事について

その他（3） その他

6 議事の経過等 以下のとおり

吉田教育長が開会を宣言し、議事録署名委員として渡邊委員を指名した。引き続き、教育長の諸般の報告を行い、本日の議件について審議に入った。

審議に入り、議案第33号については非公開で審議に入り原案どおり可決し、報告第29号、第30号、その他（1）について別添資料に基づき事務局より報告・説明し、質疑応答が行われ、承認、了承した。また、12月の会議の開催日を次のとおり決定し、閉会した。

12月の教育委員会議日程：令和5年12月18日（月）午後1時30分から

7 主な質疑・応答の内容について 別紙議事要旨のとおり

議 事 要 旨

| 発 言 者 | 発 言 要 旨 |
|-------|---|
| | 〔開会〕 午後 1 時 30 分 |
| | 吉田教育長は、委員定数 5 名中 4 名出席により定足数に達しており、本会議が有効と認め第 11 回津幡町教育委員会の開会を宣言した。 |
| | < 日程第 1 議事録署名員の指名 > |
| 吉田教育長 | あいさつ。会議日程にそって進めさせていただきます。日程第 1 議事録署名員の指名に入ります。本日の議事録署名には、渡邊委員を指名します。 |
| 全委員 | 了承 |
| | < 日程第 2 前回会議録報告（令和 5 年 第 10 回） > |
| 吉田教育長 | それでは、日程第 2 前回議事録の報告をお願いします。 |
| 松岡書記 | （令和 5 年 10 月 19 日（木）開催の第 10 回教育委員会議内容を報告する。） |
| 吉田教育長 | ただいまの報告等で何かご質問はございますか。……よろしいでしょうか。 |
| 全委員 | 了承 |
| | < 日程第 3 教育長の諸般の報告 > |
| 吉田教育長 | <p>それでは、日程第 3 教育長の諸般の報告に入ります。別紙資料をご覧ください。10 月 20 日から本日までの報告となります。主なものだけ取りあげていきたいと思えます。</p> <p>10 月 27 日に県教育委員会連合会研究大会が能美市で開催されました。開会式に続いて、県教育委員会の金子教育次長の講話がありました。その後の研究協議では、川北町と中能登町の基調発表があり、最後に 3 つのグループに分かれてグループ協議が行われました。</p> <p>11 月 8 日に河北郡市教育委員会連合会の視察研修が加賀市で開催されました。まず午前中は加賀市教育総合支援センターを訪問し、加賀市の島谷教育長から学校教育ビジョンの説明を受けました。その後施設内を見学し、センター所長から不登校支援の取組みについてお話を伺いました。午後は、加賀市美術館と県九谷焼美術館の視察・見学を行いました。</p> <p>11 月 15 日に条南小学校の男子駅伝チームが、県大会の優勝報告に教育委員会を訪れました。11 月 3 日に県の西部緑地公園陸上競技場周辺コースで行われた第 18 回いしかわっ子駅伝交流大会男子の部で、条南小学校の男子チームが優勝しました。選手 7 名が 1 人 1 人感想を述べた後、引率の渡辺先生が大会に参加したときの様子を報告してくれました。これまでこの大会では、3 つの学校が女子の部で優勝経験があるのですが、男子の部での優勝は町の学校では初めてということになります。中谷校長も同行しました。</p> <p>11 月 18 日に町 PTA 大会をシグナスで開催しました。矢田町長の祝辞の後、町教育</p> |

議 事 要 旨

| | |
|--|---|
| | <p>委員会表彰、町 PTA 連絡協議会会長表彰を行いました。引き続き、県 PTA 連合会地区別研究指定発表会が行われました。太白台小学校の PTA による実践発表があり、その後の講演会では石川ホテルの会の新村光秀会長が「ホテルを守る取組み」と題してお話をされました。</p> <p>主なものについての報告は以上です。何かご質問等がありましたらお願いします。……よろしいでしょうか。</p> |
| 全委員 | 了承 |
| <日程第 4 報告する議案 報告第 29 号> | |
| 吉田教育長 | それでは、続きまして日程第 4 報告する議案について入りたいと思います。報告第 29 号津幡町教育委員会後援等名義使用申請について事務局よりお願いします。 |
| 森課長 | 生涯教育課より津幡町教育委員会後援等名義使用申請について報告いたします。 (資料 P 1～8、当日資料に基づき、申請 6 件について承認としたことを報告する。) |
| 吉田教育長 | ただいまの報告につきまして、何かご質問等ありましたらお願いします。……よろしいでしょうか。 |
| 全委員 | 承認 |
| <追加日程第 1 報告する議案 報告第 30 号> | |
| 吉田教育長 | 続きまして、追加日程に入ります。追加日程第 1 報告第 30 号令和 5 年度津幡町学校等給食費助成金交付要綱の一部改正について事務局よりお願いします。 |
| 北山課長 | (当日資料に基づき、令和 5 年度津幡町学校等給食費助成金交付要綱の一部改正について報告する。) |
| 吉田教育長 | ただいまの報告につきまして、何かご質問等ありましたらお願いします。 |
| 山本委員 | 現在、給食費の無償化についてどのような流れがありますか。 |
| 北山課長 | 町では無償化についての議論はしていませんが、全国町村長会からは国に対してそういった要望も出されているとお聞きしています。 |
| 吉田教育長 | 教育長会ではまだ無償化については踏み込んでおらず、要望は出していません。 |
| 山本委員 | PTA からの町長への要望の中には、そういった要望はありませんでしたか。 |
| 北山課長 | 無償化については、ありませんでした。 |
| 吉田教育長 | その他、よろしいでしょうか。 |
| 全委員 | 承認 |
| <日程第 5 審議する議案 議案第 33 号> | |
| 吉田教育長 | それでは、続きまして日程第 5 審議する議案につきまして、議案第 33 号の審議に入る前に、この議案につきましては、議案が議決されるまで非公開（秘密会）としてよろしいかお伺いします。 |
| 全委員 | 了承 |

議 事 要 旨

| | |
|------------------------------------|--|
| 山崎課長 | 教育総務課所管の12月補正についてご説明いたします。 (当日資料に基づき、教育総務課所管の12月補正予算内容について説明する。) |
| 北山課長 | 学校教育課所管の12月補正についてご説明いたします。 (当日資料に基づき、学校教育課所管の12月補正予算内容について説明する。) |
| 森課長 | 生涯教育課所管の12月補正についてご説明いたします。 (当日資料に基づき、生涯教育課所管の12月補正予算内容について説明する。) |
| (審議のうえ、全会一致で議案第33号について可決し、非公開を解く。) | |
| <日程第6 その他の議事(1)～(3)> | |
| 吉田教育長 | それでは、日程第6 その他の議事(1) いしかわ百万石「里山里海」民謡の祭典開催報告について事務局よりお願いします。 |
| 森課長 | (資料P9に基づき、いしかわ百万石「里山里海」民謡の祭典開催報告について説明する。) |
| 吉田教育長 | ただいまの説明につきまして、何かご質問等ありましたらお願いします。……よろしいでしょうか。 |
| 全委員 | 了承 |
| 吉田教育長 | では、続きまして、(2) 当面する諸行事について事務局よりお願いします。 |
| 山崎課長 | 教育総務課と教育委員会全体に関するものについてご説明します。 (資料に基づき、12月の教育委員、教育総務課関係諸行事について説明をする。) 次回の教育委員会議ですが、12月18日(月)午後1時30分から開催したいと思っておりますがいかがでしょうか。 |
| 全委員 | 了承 |
| 北山課長 | 引き続き、学校教育課からご説明いたします。 (資料に基づき、12月の学校教育課関係諸行事について説明をする。) |
| 森課長 | 引き続き、生涯教育課からご説明いたします。 (資料に基づき、12月の生涯教育課関係諸行事について説明をする。) |
| (教育委員出席の行事等について確認を行う。) | |
| 吉田教育長 | 12月の教育委員会の行事について説明がありましたが、何かご質問、確認しておかなければならないことはありませんか。……よろしいでしょうか。 |
| 全委員 | 了承 |
| 吉田教育長 | それでは(3) その他としまして、事務局からは特にないようですので、委員の皆様からなにかございましたらお願いします。 |
| 山本委員 | 先月25日に上市町と黒部市へ教育委員視察研修に行ってきましたが、そこで感じたのは、地域移行に対する保護者の皆さんの理解がまず第一に必要なということと、経済的困窮の子どもたちに対する支援、それから移行先の指導者の確保と要請、これら |

議 事 要 旨

| | |
|-------|---|
| | <p>がかなり大きなポイントとなるのではないかと思います。あとはスポーツ協会などの団体をとおすのならば、そちらに対する助成も必要なのかなという気もしますが、いずれにせよまずは保護者の皆さんの理解を得ることが重要だと思います。経済的負担が若干増える可能性が非常に高いので、その辺りの対応を考えながら保護者の皆さんの理解を深めていただくということが大切だと思います。来年度、地域移行はどのように進めていきますか。</p> |
| 宮崎部長 | <p>まず休日を優先的に地域移行していく予定です。</p> |
| 山本委員 | <p>試行ということですか。</p> |
| 吉田教育長 | <p>正式に先行事例として、1つか2つの部活動でやりたいと思っています。</p> |
| 山本委員 | <p>そうすると、もう学校から切り離すことになるのですか。</p> |
| 吉田教育長 | <p>いいえ。平日は学校の部活動のままなので、学校の部活動の休日の部分だけを地域移行するということになります。</p> |
| 渡邊委員 | <p>上市町では、休日だけでなく平日も全部指導させてもらったほうがやりやすいとおっしゃった指導者の方もいらっしゃるって聞いて、なるほどなと思いました。確かに、平日は先生で休日は地域の指導者の方となると、先生方は引き継ぎや生徒指導の面で大変でしょうけれど、指導者の方の中には、先生よりももっと熱が入っている方もいらっしゃるかもしれません。津幡町ではそういうふうにおっしゃる方はいらっしゃいませんか。</p> |
| 吉田教育長 | <p>おそらくそういう方もこれから出てくると思いますが、いまは地域移行を近いうちにやりたい、あるいは受け入れできるという希望のあるところとの話を進めていくことにしています。いま平日の指導もしてくださっている方で、平日は部活動として残して、休日だけクラブ活動で、というご希望をもっている指導者の方がいらっしゃって、まずそこから先行的にやっというところからやっというところです。</p> |
| 渡邊委員 | <p>平日も指導したいと言ってくださる指導者の方がいらっしゃったら、教員はそこに関わらなくてもよくなるので、同時進行で進められないかなと思いましたが、平日の分までとなると予算的にも難しいですか。</p> |
| 吉田教育長 | <p>おそらく令和7年度以降はそういった可能性も十分あると思います。令和6年度に関して一気に平日もというのは、現時点では時期も時期なので難しいです。指導者が平日と休日で異なり、両者間でいろいろな意思の疎通がないと、子どもも戸惑うし指導するほうもやりにくいということで、全て地域に移行するというのが一番指導するほうもやりやすく理想的ではありますが、しかし、そうするにはそれだけの覚悟をもって地域移行を受け入れてくれる受け皿がないと実現しません。実際にボランティアで部活動の外部コーチをしてくださっている方の中にも、技術的な指導ならいくらでもするんだけど、いろいろな責任を負うことも加わってくると、なかなか難しいと</p> |

議 事 要 旨

| | |
|-------|---|
| | <p>いうお考えもあつたりするので、その辺りを指導者の方々とも十分話し合いながら進めていこうということで、令和6年度はそういった具体的なことの準備期間になると思っております。</p> |
| 山本委員 | <p>スポーツ協会は協力的ですか。</p> |
| 吉田教育長 | <p>協力的ではありますが、主となってやるのは難しいようです。全国的にみますと、総合型地域スポーツクラブやスポーツ協会などといった団体が、全面的に主体となってやっているところもありますけれども、今のところ津幡町ではそれは難しいです。</p> |
| 山本委員 | <p>学校が地域のクラブにダイレクトにコンタクトをとってやっていくわけではないですよ。スポーツ協会などを間に入れて進めていく話ではないのですか。</p> |
| 吉田教育長 | <p>当然、理解と協力は必要になってくるのですが、現状の体制ではスポーツ協会がその業務をやることは難しいというのは我々も理解しています。</p> |
| 山本委員 | <p>本格的にやろうとすると、学校がダイレクトにやりとりして受ける、受けないの議論をするというのは変だなと感じます。やはり、間に入る団体などが必要ではありませんか。</p> |
| 森課長 | <p>教育委員会のほうでも、とりあえず職員を配置できるように工夫をすることは検討しています。</p> |
| 山本委員 | <p>わかりました。 話は変わりまして、前々から思っていることなのですが、有名アスリートを講師として年に数回中学校に呼んで講演をしてもらおうという招致事業のようなことは考えていませんか。県や国の事業でそういったものはないでしょうか。</p> |
| 森課長 | <p>県のほうには、そういったアスリートと触れ合えるような事業は若干ありますが、応募過多で申し込んでも津幡町が当たる確率は何パーセントかなといったところです。</p> |
| 山本委員 | <p>なんとなく子どもたちに刺激を与えた方が良いのかなという気がします。</p> |
| 吉田教育長 | <p>トップアスリートや県外のプロチームの方などと触れ合う事業というのは、これまで小学校で何校か経験しています。バスケットボールであつたりサッカーであつたり、非常に子どもたちは喜んでいますが、超有名な全国レベルのトップアスリートとなるとなかなか難しいですね。</p> |
| 宮崎部長 | <p>確かに、ツエーゲン金沢や金沢サムライズなどといった地元のアスリートのトップクラスの人たちがそれぞれの学校へ行って子どもたちと触れ合うというのは、独自でされています。しかし、全国レベルのトップクラスのアスリートとなると、来れる時期と学校が受け入れられる時期が合わないなどといった問題もあります。</p> |
| 山本委員 | <p>もう1点よろしいですか。子どもたちの通学路について、先般、地震や水害等の対策でブロック塀などの点検作業をされましたよね。それでいまは安全が確保されてい</p> |

議 事 要 旨

| | |
|-------|--|
| | <p>るという認識でよろしいですか。</p> |
| 北山課長 | <p>通学路安全点検は毎年必ず行っています。各学校から報告のあったものを集約して、必要な関係機関、例えば国道や県道、町道の関係の方や警察の方などに同行していただいて安全点検をしています。</p> |
| 山本委員 | <p>これから冬場になりますが、通学路の除雪はどのようになっていますか。</p> |
| 北山課長 | <p>通学路の除雪の特別扱いは特にありません。学校に繋がる町道などは、優先順位は上のほうです。そういった町の道路除雪計画はありますが、普通の歩道を町が優先して除雪するといったことはありません。</p> |
| 山本委員 | <p>学校に除雪機はあるのですか。</p> |
| 宮崎部長 | <p>各公民館で保有しています。</p> |
| 山本委員 | <p>学校もそれを使えるのですね。誰が動かしているのですか。</p> |
| 渡邊委員 | <p>私が教職に就いていた頃は、教頭先生が使われたり、例えば刈安小学校ですと、地域の方が長年除雪してくださっていました。学校前の県道は車通りが多いですが、児童数が少ないため足跡のついていないところを子どもたちが歩かなければならないので、除雪をしていただかないと歩いて登校できないような状態でした。</p> |
| 吉田教育長 | <p>歩道の除雪は地域の方々をお願いしておりまして、除雪機の動かし方などは講習会をしてそこで技術を学んでいただき、除雪をお願いしています。</p> |
| 山本委員 | <p>公民館に除雪機があるのなら、学校の敷地内はカバーできるんですね。 歩道のあるところは良いのですが、歩道のないところは車道を子どもたちが歩くことになり危険なものですから、改めて安全管理を徹底していただきたいと思います。</p> |
| 渡邊委員 | <p>私からも1点お願いします。学校訪問をしていますと、いじめの申告数よりも認知件数の多い学校が増えてきていて、いろんな先生が子どもたちをよくみられるようになってきて良いことだと思っているのですが、すべての学校がそうではないような気がします。やはり、児童理解の会等でベテランの先生が「あの子は申告していないけれど、きっと困っていると思う」などといった具体的な姿等をお話されるのを聞く経験を増やすだけでも、若い先生方にとっての気づきとなり、そういったことが研修になっていくのではないかと思います。学校によって認知件数に少し差があるようですが、例えばこんな姿がみられたら認知する、というようないじめの認知基準みたいなものはあるのですか。</p> |
| 北山課長 | <p>町のいじめ防止基本方針というものがあり、各学校も持っています。それから校長会等の研修のたびに、教育センター所長からも毎月のように話をしていますが、認知件数は学校によって少しのばらつきはあります。</p> |
| 渡邊委員 | <p>全くない学校はいじめがないということだと思うのですが、もしも先生方の見方による違いがあるのだとしたら、もしかして困っている子どもがいるのではないかと気</p> |

議 事 要 旨

| | |
|---------------------|---|
| | <p>になります。校長会や、生徒指導の先生方が集まる会などがあるのでしたら、例えば認知件数がとても多い学校もありましたので、それはどういう考えでなさっているのかということを広め合えたら良いなと思います。不登校についても、どうしても解消できない学校や家庭の方もいらっしゃると思うんですけども、不登校をゼロにできた学校はどのようなふうにして、何人かいた不登校児童・生徒をゼロにできたのかというようなことを広め合える場はありますか。いじめや不登校の対応で努力されている先生方がいらっしゃると思うので、少しヒントを得られるような働きかけがあれば、困っている子どもたちを助けることができるのではないかと思います。</p> |
| 北山課長 | <p>この夏にも、生徒指導に特化した教職員研修を行いました。ただ全体研修会ではなく、それぞれの学校の担当の先生が出てくださっている研修会ですので、どういうふうにして全ての先生に浸透しているかはみえない部分があります。</p> |
| 山本委員 | <p>各学校では、たとえば「こんな事案があつてこう対応した」というような、横のつながりでの情報交換はされているのでしょうか。</p> |
| 吉田教育長 | <p>いじめや不登校に特化して情報交換をしているわけではないですけども、さまざまな生徒指導上の課題を定期的に情報交換する場としては、生徒指導部会などがあります。これは担当者が集まって行っています。</p> |
| 渡邊委員 | <p>認知件数が少なければ少ないほど良いという雰囲気はもうだいぶなくなってきているんですよ。</p> |
| 北山課長 | <p>それは全くありません。少なかったら逆に「どうして少ないのか」という指導が入ることもあります。</p> |
| 山本委員 | <p>子どもたちに対するアンケートは毎月行っているのですか。</p> |
| 北山課長 | <p>学校によって違いはありますが、概ね月1回程度で、2か月に1回程度のところもあります。</p> |
| 吉田教育長 | <p>積極的認知を進めていますので、学校訪問へ行ったときもいろんな書類を見ながら、「これは認知すべきではないですか」という具体的な指導も指導主事から行っています。</p> <p>その他、よろしいでしょうか。……では、以上をもちまして、令和5年第11回教育委員会議を閉会します。お疲れさまでした。</p> |
| <p>〔閉会〕 午後3時00分</p> | |